



414
A 880

極秘

第一種

陸軍部第一二六號 五

明治三十年十月十三日芝罘發

陸軍步兵大尉大田八十馬第十七報告

一、旅順通信



露國ノ狼狽 先日以表露艦ノ山東海面ニ於ケル運
動ハ元ト山海關、營口間ノ鐵道問題ニ胚胎シタル者ナレ
ト要スルニ冷評的示威運動ハ過キスニテ格別重キ
ヲ措クニ足ラサル者ノ如シ之ト對シ英國軍艦ハ復雙言
ノ意味ニアララン本月六七日ノ頃遼東半島沿岸ニ出
没シ同レク冷評的示威運動ヲ試シタリシガ左ナシタニ
人心怖々タル旅順口ニ於テ浮説流言底止スル所ヲ知ラ
ズ或ハ英國軍艦花園口ニ上陸ヤリト云フ者アリ或ハ
日本ノ艦隊大連灣ノ海上ニ遊弋シ既ニ老龍頭ノ砲台



二向テ関戦セリト説ク者アリ之レガ爲メ露ノ軍艦「オトワズニ
 」「サビヤカ」「コロニコラ」ノ三隻ハ去ル七日午後三時偵察ノ任ヲ
 帶ヒ旅順ロラ出港シ各砲台ニ戰團準備ヲナシ徹夜警
 戒息タラズ以上ノ三隻ハ各々大東溝近沿岸ノ偵察ヲ
 行ヒ「サビヤカ」ハ去ル九日午前十時「コロニコラ」ハ全日午前
 ナレ時半「オトワズニ」ハ全日正午ニ歸港其虚説ナリシヲ
 復命シ初メテ安堵ノ思ヲ爲シタリト云フ免モ角モ露ハ
 日英兩國ヲ懼レ所謂風聲鶴唳ニモ膽先ツ落フノ
 弊ヲ動アルハ近頃天止ノ好談柄ト謂フ可シ
 二清國水兵募集 清國ハ新タニ練勇水手二百人
 ヲ募集シ去ル十一月旅順ナル練勇學堂ニ入學セシメタリ
 三鐵道工事 鐵道工事ハ久シク中止中ナリが十月
 四日ヨリ再ビ工事ニ着手シ白玉山附近ヨリ起工シ

居リ其ノ使用シル人丈ハ露人千餘人清人百餘
 人ナリト云フ

二 膠州湾通信

一 獨ノ税法ニ付キ 獨シガ今固規定シタル税法ハ家
 屋税人頭税ノ二種ニシテ其家屋税ハ一戸ニ付キ年
 一元人頭税ハ一人同シク一元ナリ但シ戸主ハ之レ倍
 シテ十才未滿ノ者ハ納税ノ義務ヲ免セラルトゾ
 二 獨ノ諸工事 獨ノ鐵道工事ハ先月中止以來未タ起
 エズ青島ニハ目下道路改正棧橋修理及家屋建
 築等ノ諸工事ニ忙カワシク又技師ヲ諸所ニ派
 遣シ礪山ノ並段見ニ餘カラ遺サズ開ク所ニ依レバ
 平度城南ナル王官塞ト云フ処ニ石炭礪ヲ發見シ
 既ニ採掘ニ要スル諸器械ヲ平度ニ向ヒ運送シタリ

青島より濟南府ニ至ル鐵道線路ハ既ニ濰縣迄ノ測量
ヲ畢ハ敷地ノ買収ニ取リ掛リシニ地主不服ヲ唱ヘ賣却ヲ
肯ニセズル者十ニセハナリト云フ

三、德文書院

青島ニ先達士民ヲシテ独ニ語ヲ修習セシムル
目的ヲ以テ德文書院ナル者ヲ設クセリ入學者ハ一月僅ニ
二月ノ食料ヲ納ルヲ以テ之レリトス然レ現今ノ所デ
入學者シアル者寥寥々四五名ニ過ギズ

四、膠州灣一帯ノ人氣

膠州灣一帯ノ人氣ハ相替ラ
ズ不良ニシテ独シノ新政ヲ喜ハス既ニ去月廿九日ノ如
キハ數百人ノ土民尚又李道台ノ公館ニ押シ寄セ獨ノ
苛政ヲ訴エテ止ラズ道台百方慰諭幸ニ事無キヲ得
タリ其ノ後引キ続キ不穩ノ狀況アルヲ以テ夏辛酉ノ配
下タル東字中軍ノ内ヨリ若干ノ兵員ヲ派遣シ道台

護衛ニ充テタリ聞ク所ニ依レハ道台ハ不日歸任ス可シト

三、威海衛通信

一、威海衛ノ兵力

去ル七月威海衛ニハ八十五名ノ海兵着
港忽々竹島ノ兵營ニ入レリ本月下旬ニハ尚ホ百四十五名
未着ノ苦尚ホ英國海軍將校ノ言ナリト云フヲ聞クニ
未春ニ至ラバ當港ノ兵力ハ陸兵三千人軍艦二十四隻迄
ニ至ルベキ計画ナリト云フ

二十月十二日同港碇泊ノ英艦尤ノ如シ

「センチュリヲシ」 「ウヰクトリアス」 「アラクリター」
「バアマラン」 「ホアイチング」 「ハート」 「ハンリー」

其ノ他ニ隻總計九隻

四、營口通信

一、宋慶山海関ニ赴ク 去ル九日宋慶ノ率フル毅軍少

騎砲各隊陸路山海関ニ向テ出渡セリ武器其他
軍需品ハ復濟及ビ飛雲ニテ運輸セラレタリ

(終)